



桑 1/8 ～ オランダ人のご夫婦が来町 折町の暮らしを体験したい！

日本での暮らし方や文化に興味を持ったオランダ人のご夫婦が、町内に滞在しています。約2カ月の滞在期間中は、地域の方々との交流や町のイベントなどにも参加したいと意欲的です。

お二人は、旧伊達郡役所などの町内の名所を散策するほか、あんば柿農家と交流したり、伊達崎小学校での「だんごさし」を体験したりしました。多くの人との交流を通して、桑折町の文化を肌で感じています。



皆さんこんにちは！桑折町で暮らし始めて1ヵ月が経とうとしています。これまで東京や京都などに行ったことはありましたが、田舎町での生活は初めてです。都会と違って、とても穏やかでリラックスできています。また、道行く人があいさつしてくれるのも桑折町ならではの経験で、とても嬉しく感じています。先日大雪が降った日には、縁側でホットコーヒーを飲みながら町の雪化粧を楽しみました。残り1か月の滞在ですが、よろしくお願ひします。Goedendag!
(オランダ語でこんにちは)



▲「想像より重い…！」約10キロある1億円のレプリカを持ち上げ、重さを体感しました

税 1/16 小学校租税教室 金の大切さを実感

税金の大切さについて理解を深めてもらおうと、半田醸芳小学校で租税教室が開かれました。町税務住民課職員が講師を務め、6年生22人に税金の重要性を説明しました。

教室では、DVDアニメ観賞やクイズがあり、税金の使い道について楽しく学べる内容。児童は小学生一人当たり年間約89万円の税金が使われていることや、机、黒板などの学校の備品も税金で賄われていることを学びました。児童からは「税金がないと暮らしが困ることが分かった」「税金がある社会で良かった」などの感想がありました。



▲講師とのロールプレイにより電話対応の仕方を実践研修！

お 1/23 桑折町職員研修 お客様目線の接客学ぶ

町では、東邦銀行営業統括部 お客様相談・CS推進課の藤原美紀さんを講師に招き、「ビジネスマナーの基本」と題した研修会を開催しました。この研修会は、町と東邦銀行の包括連携協定の一環として行われたもので、町役場職員が出席しました。

東邦銀行で実践しているビジネスマナーとして、身だしなみや気持ちのよい挨拶の仕方、窓口や電話での対応の仕方などを学びました。

2年ぶり3回目となる本研修。新たな気付きを得ることで、町民の皆さんに信頼いただける職員であり続ける志も新たにしました。



▲高橋町長より「学業や仕事の傍ら良く頑張っていたいただきました」と労いの言葉がありました

昨 12/26 桑折町駅伝チーム結果報告と町旗返還 年の大会を振り返って

桑折町駅伝チームの佐藤圭監督と野村斗和主将が大会の結果報告と町旗返還のため、役場を訪れました。昨年の福島県縦断駅伝「総合39位、町の部18位」、伊達地方一周駅伝「第3位」という結果に対し、佐藤監督は「昨年は目標に届かなかったが、中学生・高校生を大会で走らせることが出来て良く健闘した。今年はさらに精進したい」と話しました。

大会が終わっても、選手たちは慢心することなく、練習を再開。佐藤監督就任5年目を迎える2019年。毎年着々と実力をつけ、チームの雰囲気も上々。今後の活躍に大注目の1年となりそうです。

町 1/4 桑折町民新年挨拶会 の発展願い、期待を込める

桑折町民新年挨拶会がJAふくしま未来桑折総合支店で開かれ、約160人が出席しました。はじめに、主催者の高橋町長が「町の将来を見据えながら時代の流れを先読みし、さらなる高み「こおり新時代」を目指し、町民の皆さまと共に、職員一丸となり、全力で行政執行にあたってまいります」とあいさつ。続いて、JAふくしま未来佐藤廣武理事、桑折町商工会渋谷浩一会長より、新年の抱負が語られました。

あいさつの後は鏡開きが行われ、出席者同士は親睦を深め、本年ますますの発展を願いました。



▲輝かしい1年となるように願いを込めて鏡開きを行いました



▲地域の皆さんと作っただんご飾りが完成。健康で実り多い1年になりますように！

伊 1/11 第7回伊達崎小だんごさし 達崎小1、2年生が伝統行事を体験

小正月の伝統行事「だんごさし」が伊達崎小学校で行われ、青少年育成町民会議伊達崎地区部会（佐藤久仁夫部会長）の協力のもと、1、2年生の23人が参加しました。

地域の皆さんと紅白のだんごを作ったあと、たくさんの縁起物と一緒にミズキの枝に飾り付けました。笑顔と歓声があふれる楽しい時間となりました。出来上がっただんご飾りは、正面玄関と昇降口に飾られました。



義 1/15 「平成30年北海道胆振東部地震災害」義援金 援金が寄せられました

「平成30年北海道胆振東部地震」に関して、各町内会等の寄附で集まった義援金計118万円が、佐藤久仁夫行政連絡員連合会会長から日本赤十字社桑折町分区（分区長：桑折町長）へ手渡されました。

佐藤会長は「わたしたちもかつて東日本大震災の際に、全国各地からたくさんのご支援をいただきました。今回はその恩返しになればという思いで義援金を集めました。各町内会の皆さんにはご協力いただき感謝申し上げます」と話しました。この義援金は、日本赤十字福島県支部を通じて早急に被災地へ送り届けられました。



▲（左から）連合会役員の佐藤善利さん、佐藤会長、高橋町長、鈴木研宗社会福祉協議会会長